

2010年度

科目名	社会福祉援助技術論 I			
担当教員	農野 寛治、畠中 義久			
配当	教福2(4214)	コード	23600	
開期	通年	講時	火曜日3限	単位数
				4
授業テーマ	ソーシャルワーク実践のための基礎的な知識と技法を理解する。			
目的と概要	社会福祉実践の現場での生活問題への支援のために用いられるソーシャルワークについての理論を理解し、その基本的な技法について、演習も交えて習得することを目的としている。			
成績評価法	受講態度・筆記試験・演習参加姿勢など、総合的に評価する。			
テキスト	新・社会福祉士養成校座 6 相談援助の基盤と専門職 社会福祉士養成講座編集委員会 中央法規			
参考書				
履修に当たっての注意・助言	演習への参加を期待するので、積極的に受講する姿勢を持って欲しい。			
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 社会福祉援助技術の歴史 (1) ソーシャルケースワークの成立</li> <li>2) 社会福祉援助技術の歴史 (2) ソーシャルワークの諸モデル</li> <li>3) 対人援助技術の基礎 (1) 自己覚知「観る－観られる関係」</li> <li>4) 対人援助技術の基礎 (2) Social work interview とは何か? Communication</li> <li>5) 対人援助技術の基礎 (3) Social work interview とは何か? Non-verbal Communication</li> <li>6) 対人援助技術の基礎 (4) Social work interview とは何か? 面接の構造</li> <li>7) Social work interview の技法 (1) 面接を展開する技法</li> <li>8) Social work interview の技法 (2) 面接を深める技法</li> <li>9) Social work interview の技法 (3) 援助関係の構築</li> <li>10) Social work における記録の取り方</li> <li>11) 社会福祉援助技術の歴史 (3) ソーシャルグループワークの成立</li> <li>12) グループワークの構成要素とプロセス</li> <li>13) グループワークの援助媒体と技法</li> <li>14) Social Skills Training 社会生活技能訓練</li> <li>15) 権利擁護とアドボカシー</li>   <li>16) 社会福祉援助技術とは何か・古典的ソーシャルワークからジェネラリストへ</li> <li>17) 専門職としてのソーシャルワーカー</li> <li>18) 相談援助職の倫理</li> <li>19) 生活問題の包括的理解／社会システム理論・生態学の考え方</li> <li>20) 包括的理解と実践の視座／エコロジカルマップ</li> <li>21) 相談支援の手順・ソーシャルワークの援助過程 ①インテークとエンゲージメント</li> <li>22) 相談支援の手順・ソーシャルワークの援助過程 ②アセスメントとプランニング</li> <li>22) 相談支援の手順・ソーシャルワークの援助過程</li> <li>③インターベンション・モニタリング・エバリュエーション・ターミネーション</li> <li>24) 総合的かつ包括的な相談援助における専門機能 ①予防機能</li> <li>25) 総合的かつ包括的な相談援助における専門機能 ②新しいニーズへの対応機能</li> <li>26) 総合的かつ包括的な相談援助における専門機能 ③総合的支援機能</li> <li>27) 総合的かつ包括的な相談援助における専門機能 ④権利擁護機能</li> <li>28) 総合的かつ包括的な相談援助における専門機能 ⑤社会資源開発機能</li> <li>29) さまざまな実践場所とソーシャルワーカーの役割</li> <li>30) ミクロ・メゾ・マクロの展開</li> </ol>				